

告示	番号	48	悪性新生物
	疾病名	悪性神経鞘腫	

悪性神経鞘腫（悪性末梢神経鞘腫瘍）

あくせいしんけいしょうしゅ（あくせいまっしょうしんけいしょうしゅよう）

概要・定義

最近では悪性末梢神経鞘腫瘍と言われている。頭蓋内や脊椎管内の末梢神経（脳神経や脊髄神経根）から発生し、組織学的には核分裂像も見られる悪性の腫瘍である。

症状

発生した脳神経や脊髄神経根の障害による症状を呈する。進行は早く、数か月で2倍の大きさになり、周囲組織を圧迫して症状を出す。

治療

神経鞘腫に準じるが、高悪性度であり生命予後は悪い。化学療法が行われるが有効性は証明されていない。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/1_6_87.html